



生徒心得

本校の教育目標を達成するため、生徒心得を次のように定める。学校は一人一人が自らすすんで学ぶ場でなければならないが、同時に、多くの生徒諸君がともに学ぶ場である。先生・生徒間の敬愛と信頼、生徒同士の協力と相互に鍛えあう努力なくして、学校に活力は生まれない。生徒心得は、ひたすらに学び得る活力に満ちた学校をつくりあげるためのものである。本校生徒としての自覚と誇りを高めていってほしい。

1. 学習

1. 授業を大切にし、真剣な態度でのぞむ。始業の合図とともに、すぐに授業に入れる態勢を作る。
2. 家庭学習も計画を立て、予習・復習は毎日必ず行う。少なくとも1日3時間以上の家庭学習が望ましい。
3. 理解不十分なことや、わからないことは積極的に先生に質問し指導を受ける。
4. 宿題、提出物等は期日までに必ず提出する。



生徒心得

2. 考査（定期考査生徒心得）

考査は、まず自分のためのものであることを認識する。

平素の学習の成果を検証し、自らを向上させる機会である。

1. 理由なく考査を欠席しない。病気等によりやむなく欠席する場合は、保護者から当日午前8時30分までに、その旨担任に連絡するとともに、病気の場合は、それを証明する証明書等（診断書等の受診者氏名、期日、病状がわかる公的なもの）を添えて、欠席届を必ず担任へ提出する。
2. 考査は厳正な態度で受けなければならない。考査中の私語、わき見は行わない。
3. 考査期間中は出席番号順に着席する。机の列は6列とする。
4. 考査はチャイムと同時に開始できるように、早めに着席し準備する。
5. 考査に必要な筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、定規）以外のすべてのものはロッカーの中に入れるか、あるいは、鞆に入れロッカーの上に整頓しておく。（下敷・筆箱は使用しない。）なお、机の中は空にしておくこと。
6. スマートフォン・携帯電話等の通信機器は必ず電源を切り、教室内に持ち込まない。計算機、翻訳機及びその機能を持つ腕時計等も持ち込みを禁止する。また、アラームは切っておく。
7. 遅刻者は、職員室で許可を受けた後、入室して考査を受けることができる。また、特別な事情があるときは職員室で担当の先生に申し出る。
8. 考査中の退室は原則として認めない。
9. 不正行為もしくは誤解を招くような態度や行為は、絶対にしない。
10. 返された答案の解答を書き直したり、書き加えたり等改ざんをして不当に点数を得ようとする行為は絶対にしない。